

オゾンガス発生装置

参考仕様書

項目	型式 MOP-1880M
オゾンガス発生量 ^{※1}	0~80.0 g/H (20°C 大気圧)
オゾンガス濃度 ^{※1}	0~74.0 g/m³ (20°C 大気圧)
オゾンガス流量 ^{※1}	18L/min [1.08 m³/H]
オゾンガス圧力 ^{※1}	0.1 MPa
オゾナizer ^{※1}	空冷円筒型 無声放電方式
酸素ガス発生部	PSA方式 (O₂濃度 90.0%以上 露点-60°C以下)
電源電圧	3φ AC200V 50Hz
消費電力	約2.8 kW (※コンプレッサー含まず)
運転方式	手元／遠隔運転切替式
電気信号入出力 ^{※2}	(入力) 接点容量DC24V 0.1A以上必要 ①遠隔発停信号 ON : 装置運転 OFF : 装置停止 (出力) 接点容量AC125V 1A以内 (ドライ接点) ①運転中信号 運転時 : ON ②一括異常信号 異常時 : ON
原料ガス入口	Rc 3/8
オゾンガス出口	Rc1/4
ドレン出口	Rc 1/4
環境周囲温度	5 ~ 35 °C (結氷なきこと)
環境周囲湿度	95 %RH 以下 (結露なきこと)
寸法	780W × 850D × 1780H(キャスター及び突起物含まず)
重量	約400kg
装置色	マンセル 2.5Y9/1 半艶
推奨コンプレッサー	日立産機製パッケージオイルフリーベビコン (ドライヤ内蔵型) 型式: POD-2.2MA5 三相 AC200V モーター出力 2.2kW

※1 オゾンガス発生量について

(1) オゾンガス発生量の濃度と流量の関係

オゾンガス発生量 (g/H) = オゾンガス濃度 (g/m³) × オゾンガス流量 (m³/H)

(2) オゾンガス濃度は、発生量調節器で0から調整ができます。

(3) オゾンガス流量は、流量調節バルブで調整ができます。

(4) 空冷円筒型無声放電方式のため、設置環境温度によりオゾン濃度 (オゾン発生量) が変化します。高温度になるほど低下すると共に寿命が短くなります。

※2 一括異常信号は、コンプレッサー異常/PSA異常/オゾナイザー異常が含まれます。